

解決を先送りすればサンケン電気の悪評は拡散する！ 和田社長は、話し合いに応じるしかない！

4月22日(木) 本社前行動(7時15分～8時15分)

早朝から本日もありがとうございます。本日も定例になりました本社前の集会を始めたいと思います。集会に先立ちまして埼玉市民の会の仲間の皆さんから連帯の挨拶を行っていきたくと思います。朝早くからご苦勞様です。ご近所の皆さんも今日木曜日ですので1時間ほどアピールをさせていただきます。いよいよ私たちの闘いもサンケン電気との攻防も大きな山場に入っているだろうと思います。6月の終わりころには株主総会と言うことで、そこに向けて状況が迫っている。世の中的には労働者の対しては使い捨てていくという新自由主義と言われている当事者にとって厳しい空気が変わってきているのではないかと、東芝と言うところを見てもファンドの横暴に対しても遅まきながら、東芝の社員が立ち上がるということで、取り合えずイギリスのファンドは後退せざるを得なかった。アメリカとかカナダのファンドが東芝を狙って食い散らすそうといった姿勢はまだ堅持していると思いますけど、ではサンケン電気はそういった中でどうしていくのか。ファンドをとるのか労働者をとるのか、会社の労使関係を立て直して再建していくのかと言うことが今問われていて、株主総会に臨んでいく状況にあるのではないかと。そういう中で私たちは韓国の労働者の切り捨てと民族差別、とりわけ韓国の労働者に対しては話し合いにも応じない、一片のホームページでの発表での会社を偽装倒産し全員解雇と言う状況に追い込んでいくという酷い態度をとったわけで、そういうことも含めて経営陣を批判してそういう態度を改めて行かないとファンドの食べ物にされますよ。と言っていかなければならないと思います。私たちの闘いは相手を追い詰めて話し合いに出て来ざるを得ないという状況に追い込んでいくと言う大きな局面に来ている。と言うことで今日も朝の行動、志木駅前での情宣、池袋、池袋ではそれなりに向こう今の状況が伊藤さんを通じて分かるようになるのではないかと。そういう闘いを積み重ねていきたい。地方では昨日大阪で、ユニオンネットが大阪支社への抗議行動をやっているかと思っています。僕は聞いていませんけど、全国でも様々な闘いが繰り広げられていると言われておりますので東京、埼玉での闘いをしっかりやっていきたいと思っています。



市民の会の話の中にありましたように、今、株主総会を控えて重藤な局面を迎えています。サンケン本社の近隣の皆さんには早朝からお騒がせしていますが今全員解雇と言うことで、よんどころない事情で頑張っていますので、今しばらくご容赦を頂きたいと思っています。それでは、さっそくインターネットを通じて韓国の仲間からの発言を受けて行きたいと思っています。

韓国サンケン労組 キム・ヨンデさん発言

おはようございます。今日も皆さんご苦勞様です。私はキム・ヨンデと言います。現場にもう一度帰るために闘いを続けています。まず、工場周辺にお住いの皆さんに今日もお騒がせすることを心苦しく思っています。累積赤字を口実にした今回の会社の清算・閉鎖と言うことを直ちに撤回してください。会社が閉鎖の口実にしている累積赤字と言うのは会社によって作られたものであり、それが私たちに押し付けられたものであると私達は捉えています。責任があるのは自分の手は焦がさずに只利益だけを迫及してきた韓国の社長、会社経営

陣、そして日本本社の責任です。そのことを十分承知しておきながらすべての責任を私達労働者に押しつけてきていることに納得いきません。赤字と言うのは口実に過ぎず只々ほかに工場を作ってほかの場所で生産しようという魂胆ではないでしょうか。労働者の血と汗を流したその労働を搾取することが経営の目的でしょうか。今回の事態だけではなく、以前のCTF投入の問題、会社の経営の失敗について私達は振り返って考えています。当時の無理な投資計画を立てて、そのことによって失敗をしたその責任を全て労働者に押し付けて整理解雇をしたのではないのでしょうか。そうした経営の失敗過ちを犯しながらも、経営の側はそれを認めずに全て労働者にその責任を押し付けてそして搾取を続けたではありませんか。住民との約束、私達韓国の労働者との約束を守らずにしながら、それでいながら企業に信頼を維持していくのはとんでもないことです。当時会社が私達と結んだ約束を今からでも守ることを強く求めます。日本でも工場を閉鎖する。そして、営業部を閉鎖するという話を聞いていますが、そこで働いていた労働者にも家族はいたはずで。本当に心が痛んでやみません。他の国の労働者も解雇して、自分たちの国の労働者も解雇してそのように労働者の首を切りながら自分たちの経営を維持してきたんですか。そうした事を行っている企業がはたして世界売上第8位と言うまっとうな企業と言えるのでしょうか。お金のためなら何でもし、労働者をたたき出して生活を破壊することも平気でやるのがそれが企業でしょうか。そうした酷いやり方はサンケンだけではなく他の財閥企業も同類に行っています。韓国映画のある台詞が頭に浮かびます。あなたそれでいいのか？そういうことをしてはいけないのか？人の物を全部かっぱらって持って行ってそれではたしてまっとうだと言えるのかという台詞です。サンケンがこうした酷い経営のやり方を改めることを強く求めます。18年当時の私たちを整理解雇した当時から私たちは会社のサンケンの企業イメージが落ちることを望んでいないと言ってきた。今も全く同じ考えです。赤字を生んだ韓国サンケンの経営陣は全て会社から出ていきました。サンケン電気本社が直接韓国サンケンの経営の責任を担うこととすれば十分に韓国サンケンは利益を生むことが出来ます。利益を生み赤字を解消するために新たな投資、新たな技術を韓国サンケンに投入してください。私たちが再び工場に戻って生産するのに十分可能じゃないですか。そういう風にすれば会社の信頼回復もでき企業イメージを新たに上げることも可能です。今会社に通勤している社員の皆さん。それから工場周辺にお住いの皆さんまたお騒がせして心苦し

く思っています。発言をこれで終わりたいと思います。どうも、ありがとうございました。

韓国サンケン労組 キム・ヒョンガンさん発言

キム・ヒョンガンと申します。私は韓国サンケンの組合員です。いつも朝本社前に集まって連帯行動をしている皆さん、本当にありがとうございます。FBやYouTubeを通じて日本の仲間の皆さんが闘う姿を毎日確認しています。日本の仲間の皆さんの闘う姿を見て毎日、私たちは力と元気をもらっています。皆さんもご存じの通り今から5年前の2016年に日本に来て毎朝個々の本社前で抗議行動を行いました。再び同じような形で解雇撤回の闘いをする事になるとは夢にも思いませんでした。おそらくサンケン電気本社は当時から私達を再び解雇しようとしていたのだらうと私は考えています。私自身の話を短い時間ですけれどもと思います。サンケン電気で働いていらっしゃる事務職の労働者の皆さんお早うございます。朝早くから仕事をするために通勤するその姿を見て私も本当にうれしく思います。そして、本社前で警備に携わっている



労働者の皆さんにも、5年前私たちが解雇撤回を求めて律動と言う音楽に合わせた踊りをする様子をご覧になった方もいらっしゃると思います。又5年前と同じように直接本社の前に行って演説をし、律動をするそのような感じがよみがえっています。私は韓国サンケンで18年間働いてきて、不当解雇の目にあっている労働者です。通勤中のサンケン電気株式会社の社員の皆さん、少しでも私たちの声に耳を傾けてください。私たちがこのように本社の前で声を上げそして日本の仲間の皆さんが連帯してくださることに皆さんもご存じのことでしょう。私たちはこのように本社の前でも声を上げ、そして韓国の地でも闘いを続けていることについて少しでもお話を申し上げようと思います。韓国サンケンの工場の前に私たちはテントを張ってそこに寝泊まりし、毎日そこでの宣伝活動を行っています。それから民主党の慶南道の本社の前でも抗議の声を上げ続けています。そしてまた雇用労働省前でも抗議の声を上げています。そしてまた、釜山にある日本領事館前でも一人デモを行いながら解雇撤回の声を上げ続けています。私たちが住む昌原市でも様々な活動を行っており、LGの会社の前でも闘争を開始しています。そしてまた、ソウルに上京しての闘いも毎週交代しながら行っています。ソウルにある日本大使館前では毎日一人デモ、そして記者会見を行っています。そしてまた、韓国の法律を作る国会前でも一人デモを行っています。そしてまた、サンケン電気本社が100%作っている韓国サンケン営業部の前においても私たちは抗議の声を上げています。私たちがここ韓国の地で出来ること全て行なっている。と私は思います。もしもコロナの事態がなかったら私たちは日本に必ず行って、本社の前で闘争を展開しているでしょうと確信します。皆さんはご存じかとは思いますが、韓国サンケンの社長はもしもコロナの事態がなかったとしたら今回の事態はなかったであろうと言ったことに関する言及もあったというように私たちはとらえています。コロナの危機を利用して一方的に私たちを解雇してしまうと言う行為は本当に悪質な企業だと思います。私たちはどんなことがあろうとも最後まで必ず闘い続けるだろうことを皆様に約束申し上げます。サンケン電気は2017年に私達労働者と結んだ約束を未だに守っていません。しかし、日本の企業は一旦した約束はきちんと守るものだという風に思われています。私たちは3年間度重なる休業命令がありながらも私たちはひたすら工場で一生懸命働いてきました。そして数日前、日本領事館前で一人デモを行っていました。その時に領事館前に毎日現れて抗議している人がいました。その方に挨拶をしました。その人は日本人だったので「お早うございます。」と日本語で挨拶しました。するとその日本人は私に対して韓国語で「お早うございます。本当にご苦労様です。」と韓国語で挨拶を返してくれました。私が領事館の前で一人デモをしているときに近寄ってきて私に挨拶をかけてくれる人は何人もいます。この様に私たちの一人デモに対して声を掛けてくださる日本人が何人もいて本当に元気ももらっています。私は再び現場に戻って韓国サンケンの工場の中で働けるその日が来るまで一生懸命努力し闘いを続けます。私は必ず最後まで闘って現場に戻ります。日本の仲間の皆さんが支援してくださっている限り、私たちは必ず勝利することができることを確信しています。私たちは確信しています。毎週木曜日そして隔週月曜日にサンケン電気本社の前で闘ってくださる皆さんがいる限り、私たちは必ず勝利すると言っていることを確信しています。闘いを続けそして、その闘いによって現場に戻るそのことを信じて闘いを続けていきます。朝早くから私たちの闘いに連帯してくださる日本の皆さんに改めて感謝を申し上げて発言を終わりたいと思います。ありがとうございました。最後に私の発言を終わるにあたってこれから私は宣伝活動に出かけます。どうもありがとうございました。

韓国サンケンの仲間からの発言でした。彼の発言の中にもありましたようにまず第一に、今回の問題を引き起こしたのはサンケン本社が約束を守らない。長年働き続けた労働者に一辺の説明もなく放り出す。そういう行為を行った。ここに尽きるんですね。そしてもう一つは韓国サンケンを解散する必要などなかったんだ。この2つ何だと思えます。だからこそ私たちは毎週木曜日に、この本社の前で立ち続けながら宣伝活動を続けていきます。日本国内でも様々な動きが広がっておりますけれど、次に地元の埼玉市民の会の仲間から連帯の発言を頂きたいと思えます。

お早うございます。アンニョンハセヨ、私はこの近くの新座団地に住んでいる住民です。毎週木曜日ここに来て、私の役割は只黙って立っているだけかなと思っていたんですけど、今日は大好きなキム・ウニョンさんの似顔絵プラカードを持たせていただきました。キム・ウニョンさんとは3年前に勝利を果たして帰られてから殆ど会ったことがないんですけど、いつもどうしているかなと思っていました。それでまた、去年の秋からここに立つようになって本当に悔しい思いと国際的な連帯の気持ちをずうっと持っていることに何か嬉しさを感じてしまっています。私は韓国ドラマが大好きでよく見るんですけど、時代劇の中で王様が韓国ドラマの場合いつも民、民衆のことを考えているんですね。名君であるためには民はどうしているのか民は豊かに暮らしているのか。そういうことを素晴らしい王様の基準にしているんです。これは韓国ドラマだけです。中国の時代劇を見ているけれど皇帝がそういう民のことを気にすると言う場面を見たことがありません。日本の時代劇だってそうじゃないですか。織田信長とか皆さん大好きな家康とか、民は何をしているのか、民は苦しんでいるのかそういうことを気にしている様子を聞いたことがありません。私はやはり朝鮮の人たちの封建の下での民主主義そういう自分の支配している人たちが幸せであることを願うこういう気持ちは貴重なものだと思っています。和田社長もそうところがあっていいじゃないですか。少なくとも社長になったり人の上に立つ人は自分が雇っていたり、いろんな生活の面倒を見ている人たちが幸せかどうか。ブータンじゃないけど幸せ度と言うものを測ってそれでそのために働く。だから高いお給料ももらう。こういう風になっているのが当然だと思うけれど、まず自分の従業員を踏みにじって、そして自分の利益だけを目指していく。グローバル資本主義と言うのがその酷い形になっていますけれども、それでいいのでしょうか。ましてや人の国に行つてそういう踏みにじる行為をしてその組合員たちが必死に抵抗している。そういう姿を見ていて黙っている訳にはまいりません。私は本当は今日は元気がなくて昨日のソウルでの慰安婦裁判が負けてしまったのでとてもがっかりしているんですけど、やっぱりこれからグローバリズムにしろ何にしろ海を越えていろいろなことを一緒にやっていくことためにはその人たちの幸せをまず第一に考える。それが大事じゃないでしょうか。本当にそんなふうに思って朝頑張ってきました。キム・ウニョンさん、大好きなキム・ウニョンさん、あなたの本当に熱い闘いの気持ちを私も共有したいと思います。頑張りましょう

ありがとうございました。地元で支えている皆さんもありますけれど、昨日は大阪でサンケンの営業所闘争がありました。日本国内はもとより、韓国の中でも闘いの輪が広がっているんだと言うことを私たちはもう一度認識をしながら様々な闘いを進めていきたいと思っています。再度、それで韓国と通じたので連帯の挨拶を受けに行きたいと思っています。

韓国サンケン労組 オ・ヘジン支会長の発言

おはようございます。私は韓国サンケンの支会長の**オ・ヘジン**と申します。今の気候を見ますと春が終わりつつあり、夏がもうすぐ来る。近づいているそんな感じがします。しかし、私たちは不当解雇、それから工場の閉鎖という不当な状態に足をつかまれている。そそうした状態が続いています。そうした冷たい風に吹きさらされている私達に対してもサンケン電気本社の和田社長は何の対応も解決策にも努力をしていません。一切の正当な手続きをふまないまま今回の事態を強行し、4年前私たちが会社と結んだ合意を一切守らずまた、労使の



合意も踏みにじり、そのようなことを行っている会社に対しては、私たちは一貫して話し合いに応じることを求めてきました。経営が厳しい場合に工場の再編を行ったり行動調整を行うことは止むおえない場合もあるとは思いますが。そのようなリストラ、企業の再編を行う場合最低限そこで働く労働者との話し合い、そして、事態の説明を行う必要があるのではないのでしょうか。そのような厳しい状態に伴うリストラや様々な事態に対する対策については事前に十分に説明をし、討論を行った後で労働者と合意がなされて初めてそういったリストラが行うことができるのではないのでしょうか。そうした事を行うのが企業として最低限の礼儀であり労使間の信頼に基づくものであると思います。ところが、サンケン電気本社はほかの子会社や工場に対する態度とは全く異なる態度を私達韓国の労働者、韓国の工場に対しては差別的な措置を行ってきました。他の工場やほかの子会社に対する措置と違って、いきなりの取締役会の決定を一方的に伝え私達労働者の声は一切聞きませんでした。韓国であれ日本であれ労働者の雇用問題に重大な問題が生じたときは事前に労働組合に対して説明をし、合意を取り付けるのが一般的な企業の態度だと思います。どうして私達韓国の労働者に対してはほかの国内の子会社とは違って一方的な決定を一方的に通告してきたのでしょうか。これは民族差別です。そしてまた、労働者が本社に対する遠征闘争を行えない状態だからと言って私たちに向けられた解雇と言うことに黙っている労働者がどこにいますでしょうか。和田社長は5年前の私達の闘いを覚えているはずですが。当時経営陣の誤った経営判断に基づいて韓国の労働組合員だけ一方的に解雇して長い闘いを通じて最終的には解決に至ったその事態を改めて、和田社長は思い浮かべる必要があります。当時の闘いは日本の仲間の皆さんが本当に献身的な連帯闘争を続けてくださり、まさに国際連帯の模範といえるような闘いを日本の仲間の皆さんが取り組んでくださいました。そうした力強い闘いを通じて私たちは5年前の私たちに対する不当解雇を闘争によって撤回させることが出来ました。今度の闘いも全く同じです。こうした日韓の連帯、地域対策委員会、地域との連帯がその力が国会議員のサンケンに対する抗議、そして市、市議会、市長のサンケンに対する抗議の声、そして抗議の実践を生み出しています。そして私たちが日本に行けないこの間も、日本では多くの連帯して下さる闘いが大きく起きていてそして営業所等、様々なサンケン電気に関する場所に対する抗議行動が各地で展開されています。和田社長とサンケン電気本社の経営陣の皆さん、こうした闘いが展開していることを見て私たちの闘いがすぐに終わることは決してない。最後まで続くということを改めて認識してください。いくらあなた達が私たちの闘いを無視して対応を全く行わなかったとしても私たちの闘いは必ず勝利します。サンケン電気の不当なやり方、欺瞞的なやり方に対して怒りは怒りを呼び闘いは大きく広がっていきます。こうした不当で卑劣なやり方を中止しないのであれば、そして私たちの声を無視し続けるのであれば、サンケン電気の企業イメージは今後も更に落ちに落ちていくと思います。サンケン電気のイメージは会社が打ち出しているイメージとは裏腹に人間中心などでは全くない。人の生きる権利、生活権を踏みにじってでも利益を得ようというそうした企業イメージが今後とも更に強まっていくでしょう。私達はこの闘いを絶対に止めません。私達韓国サンケン支会は今まで闘いで団結を強めてきた。そうした労働組合です。私達は民主労総の旗を守り続けて行きます。今日も私達と共に闘いに立ち上がってくださっている日本の皆さんに感謝申し上げます。これからも是非、健康にお気を付けてお元気でいらしてください。ありがとうございます。

韓国サンケン労組 キム・ウニョン副支会長の発言

サンケン電気に通勤されている労働者の皆さん、それから道を通っている皆さん、あるいは周辺の皆さんお早うございます。今日も私達の闘いに連帯するために本社前に駆けつけてくださっている日本の仲間の皆さんお早うございます。私は韓国サンケンで31年間働いてきた**キム・ウニョン**と申します。お早うございます。今日、日本の空はくっきりと晴れていますね。5年前私たちが遠征闘争をした時日本の空は何処までも青いなと言うことでした。そしてきれいな街並みそして、親切な人々、そして気を配る人々が多いと言うことが印象として残っています。そしてテレビなどを見ても日本において大切な価値観は良心である。人に対する配慮であると言うことも感じる事が出来ました。それなのにサンケン電気だけ何で全く反対のことを行っているのでしょうか。日本の皆さんは本当に気を配る方、気を遣う方が沢山いらっしゃるのに何故、安倍政権とそして菅政

権は全く真逆なのではないでしょうか。そのことから同じ空間で生活したとしても日々との姿、行為と言うものは異なるものだと言うことが分かります。それはサンケン電気のように資本の利益を迫るばかりで人の生活と言う物には関心を持たないこうした企業の姿がはっきりと示しています。サンケン電気は労働組合を憎みに憎み、そして韓国人に対する差別的な感情を抱いていることから今回の私達への生活と労働を踏みにじるそうした事態が生まれたわけです。25年間に渡って韓国サンケンでは労働組合を潰すそうした弾圧と労働者の人権を踏みにじるそうした行為をずっと行ってきました。しかし、それに対してサンケン電気は謝罪を一切行わず、あろうことか、今回に至っては私たちが働く工場を一方的に閉鎖しました。私達韓国サンケン支会はそうした弾圧に対しても易々と応じていく、放棄していくそんな存在ではありません。私達は人間の存在を守り、そして労働者としての人権を守っていくそのためにその闘いを行ってきた労働組合です。人との労働者との約束を守らない企業そして人権を踏みにじる企業、そして私達の尊厳を踏みにじるそうした企業に対する闘いははっきりと正当なものであり、そして最後まで闘い続けていきます。それに加えて菅政権が先日決定した福島原発事故汚染水の海洋放出についてもこれを徹底的に弾劾します。人が生きる場である海を死の海に変え、韓国・日本・アジアの人々、それにとどまらず全世界の人たちに死を強制する害悪をもたらす菅政権と最後まで闘っていきます。今後、菅政権は私たちサンケン労組を始めとする韓国の労働者、民衆そして日本の全国各地の労働者民衆の抵抗闘争そして全世界の弾劾の声にさらされることとなります。今日も連帯闘争に立ち上がっている日本の仲間みなさん、正義の闘いは必ず勝利する。私はそう確信しています。どんなに闘いが大変でもそして試練にまみれていたとしてもしかし、正義は必ず勝利するのであり、私達は勝利の実を大きく育てて花を咲かせていく、そうした闘いを共にやってみましょう。そうした闘いに続く勝利の道に関して、それに参加する人もいれば、ただ眺めている人もいるでしょう。しかし、私達は勝利し、嬉しい、涙を流しながらその勝利の果実を手取るそうした存在と一緒にいるという風に確信しています。本当に親が子に対してかけるそうした気持ちにも負けない、そして、韓国の人たち仲間たちそして大統領すらも私達に対して配慮するそうした気持ちの大きさを超えるほどの強い連帯の気持ちをしてくださる日本の皆さんに本当に信頼する気持ちを感じますし、最後まで一緒に闘っていきたい気持ちで一杯です。皆さんがいるから私達の闘いも存在します。そして私達の存在に対して皆さんの闘いも一緒に結合して闘ってくださっているかと思います。皆さんの存在が私達の存在と一緒に存在している。そういった一つの存在だと思っています。一つになった闘いは必ず勝利します。日本の仲間の皆さんありがとうございます。そして大好きです。私達、闘って必ず勝利しましょう。

トゥ・ジェン

ありがとうございます。サンケン電気の支会長のオ・ヘジンさんそして副支会長のキム・ウニョンさんからのアピールでした。オ・ヘジンさんの話の中でもありますけど、サンケンは今大きな合理化、体制の整理をしています。しかし、日本国内ではちゃんと働く人間に説明をしているんです。何の説明もしていないのは韓国サンケンだけなんです。キム・ウニョンさんがよく言われていますけど、私はサンケンに青春を捧げた。何十年も働き続けた大切な従業員にホームページで一辺の発表するだけで放り出す。そんな理不尽なやり方は到底私達も納得できない。韓国サンケンと共にわつしたちも日本国内での闘いを進め、そして広げていきたいと思っています。今日の最後になりますけど締め挨拶は争団連の朝日ダイヤの仲間から挨拶を頂きたいと思っています。

先ほど司会の方から言われた通り日本国内の労働者に対する扱いと韓国の労働者に対する扱いこういった問題でいうと本当の優しさと言うのはどういうものであるのかと言うことを考えます。今、地球にやさしい環境作りと言うことでアメリカや中国をはじめとして電気自動車が発達をされて二酸化炭素を排出しない優しい環境作りと言うことで大量の電気自動車が作られてきていますけれど、その大量の電気自動車が作られ

る過程においては大量のリチウムイオン電池が使われなければならない。リチウムの原料と言うのはチリを始めとした、また第三国からの資源を採ってこなければならないのですが、大量の地下水をくみ上げてその中からリチウムを採っていくという感じで結局自分たちの、例えばアメリカとか中国とかで環境がよくなったとしても、チリを始めとする第三国では環境破壊が行われて地盤沈下が行われる。そして水資源が失われていくようなことを行って、そして電気自動車で環境に優しい地球に優しいなどと言うことがはたしているのかということです。その問題と同じようにサンケン電気が今業績が良くてそして、物づくりセンターなどと言うものを作ってこの地域においてあるいは労働者の環境において整備を着々と進めていますけど、そういったことが出来るものの裏を返せばその犠牲を韓国の労働者に押し付けていいのか。韓国の労働環境破壊を日本が勝手にやっているのかという問題です。本来サンケン電気がそういう意味でちゃんと労働者に優しい会社を作ろうとしているのであれば日本国内のことだけを考えるのではなく、近くの韓国であったり世界の仲間と手を携えて、全体のことを考えて労働者が働きやすい環境作りを行っていかなければならないはずで。和田社長を始めとした経営陣は今こそ勇気ある決断を行うべきです。以上です。

シュプレヒコール

志木駅南口前行動

志木駅駅頭をご通行中の皆さん、そして近隣の皆さん大変お騒がせをしております。私達はこの志木駅からほど近いところに本社がありますサンケン電気その 100%子会社である韓国サンケン電気の廃業について抗議をしそして宣伝をさせていただいております。労働者と市民の団体です。今のコロナ禍で赤字だよ廃業当たり前だよ、そんな風に思われるかもしれませんが。ところが韓国サンケンの廃業はそういうことと全く無関係なのです。今半導体は大きな需要を迎えており好況です。そして何よりもサンケン電気本体は莫大な利益を上げています。その中で何故韓国サンケンを解散しなければならなかったのか。それは現地の社長に対してサンケンの本社社長が言った一言が何よりも本当の理由を物語っています。今コロナ禍で韓国から例え首を切っても来日して闘争することが出来ないんだ、だから潰してしまえばいいんだ。それがサンケン本社の本音です。そして赤字だから解散をするんだと言っていたはずなんです、韓国のサンケンと言う会社を清算する一方でですね、実は撤退をするわけではないのです。韓国の LG 電気と組んで密かに別会社を作って多くの資金を投入して実は活動を続けていたということが明らかになりました。不況だから清算をしたわけでもなく、儲からないから清算したのではない。そして、その解散を一方的にホームページ上で発表をする。ただ、それだけなんですよね。日本の国内でもサンケンは合理化をしています。でも儲かっている企業はちゃんとそれなりに従業員たちに次の行き先をそして会社の内容について説明をしているんです。韓国のサンケンだけが何の説明もしないで一方的に会社を解散して、そして解雇したそういうところです。今、韓国国内でも大きな問題になっておりますし、私達を始め、日本の中でもこの問題を広く取り上げ、そして、皆さんに知っていただきたいということでこの場をお借りしての宣伝活動しております。仲間たちがチラシを配布しておりますので、どうぞ手に取っていただきたいと思っております。そして、このサンケンと言う企業が地元の企業がどんな事をしているのか。是非、興味を持っていただきたい。そして不審があれば、そこに連絡先がありますので是非皆さんサンケンに連絡してくださ



い。私達は切に、そういうことをお願いしながら暫くここでの宣伝活動をさせていただきます。始めに、地元埼玉で韓国サンケン労組を支援する仲間たちが活動を続けていますので、埼玉の支援する仲間から発言を受けて行きたいと思います。

志木駅前をご通行中の皆様こんにちは、周辺のお店の皆さん、会社のみなさん、お仕事お疲れ様です。大変お騒がせしています。毎週木曜日私達この様にこの時間たち続けて 30 回を迎えました。もうおなじみになっているかもしれません。でも、それは決して嬉しいことではありません。この問題を解決するのはひとえにサンケン側に責任があります。この志木駅からほど使い 10 分ぐらいにありますサンケン電気株式会社、地元の大企業です。ご存じの方が殆ど、あるいは自分が、ご家族が働かされている、あるいはお知り合い、ご友人、ご近所の方にサンケン電気で働いている方もいらっしゃる方も多くいらっしゃると思います。また、サンケン電気の前を通っている通りはサンケン通りという名前が付いていて看板も立っています。サンケン通りの上には街灯が付いていてサンケン電気の寄付によって建てられたものだということが書かれています。そのように地元へ貢献している企業だと言う風にご理解されている方も多くいらっしゃるんじゃないかと思います。地元の大企業であるサンケン電気が一体何をやっているのかと言うことを皆さんに知っていただきたいくこのように駅頭で街頭宣伝を行っております。今、私達の仲間がビラをお配りしております。前に受け取ったかなと言うことではなくこれは毎週更新しております。新しいニュースですので是非お手に取ってご覧ください。お持ち帰り頂いてゆっくりお読みいただければと思います。そして、地元の大企業サンケン電気が一体何をしているのかと言うことを知っていただきたいと思います。私達は韓国サンケンに連帯する埼玉市民の会です。地元の市民が声を上げて、地元の企業が恥ずかしい悪辣な行いについて抗議をしています。私は新座市の隣の三芳町に住んでいます。やはり地元の企業がどうしているのか、それについて黙ってはいけません。それに黙っていて目をつぶると言うことは、いずれ同じようなことが自分に降りかかって来るのではないかなと思います。今、コロナ禍の中多くの会社、企業がつぶれて行って、倒産して行ってあるいは店じまいをしている、日本の住民、が大変な目にあっている。韓国に人たちのことなんか構ってられないと言った本音があるかもしれません。でも、そのことに黙っていることは自分の身に降りかかって来ることだし、韓国で起きている問

題と言うのはいずれサンケン本社の皆さんの身にもさしかかってくる可能性もあるんだと思います。4年前にも韓国サンケン本社の皆さんはこの場所に立って抗議をされていました。その時にサンケン電気の和田社長は約束をした、重大な問題があるときは労使で話しをすると言うことを約束した。工場を正常稼働するということも約束した。でもその約束は守られることがなかったのです。韓国の労働者の皆さんは日本人たちは約束をきちんと守るんじゃないかと言うことを何度も言っています。やはり私は日本の市民の一人として約束を守らない日本人、日本の会社、日本人の社長と言うのが恥ずかしいです。日本人は約束を守るというのが美德とされているんじゃないですか。韓国サンケンの労働者が言うたびに私は一人の日本の市民として恥ずかし思いをします。それに引き換え韓国の労働者の皆さんは非常に礼儀正しいです。いつも本社の前で抗議行動をするときにネットを通じて抗議をする時に、あるいは後に必ず、周辺の皆さんお騒がせしますと言う挨拶があるし、連帯する私達に対しては常に感謝の言葉を忘れません。それが本当に申し訳ないと思います。韓国労働者の皆さんはあくまでも礼儀正しい、それに対して礼儀知らずなのはサンケン電気であり、和田社長の方です。そのことを日本人の一人として埼玉の市民の一人として皆さん自分事として考えていただきたい。そして連帯する声を上げてください。今、仲間たちがビラをお配りしています。そこにサンケン電気番号も書いてあります。ビラを見て酷いなと思ったら、抗議の声を上げてください。地元大企業のサンケン電気がそんなことをするのかとお思いの方は、連絡をして、このビラに書いてあることは本当のことなのかと問い合わせて聞いてみてください。市民が声を上げていくサンケン電気に電話をしていくと言うことが大きな力になります。できることから始めていただきたいと思います。是非、よろしくお願いします。ありがとうございます。

本当に地元の方からの声サンケン電気という会社はここに長くお勤めされている方もいらっしゃるんですよ。本当に良い会社だったんだ。いう話も聞きます。そうだったんだろうと私も思いたいです。でも、毎週の宣伝の中で、最近は何があったんですか？と言うことを聞かれる方が沢山いらっします。私達はサンケンの悪い噂を広めているのではなくサンケンがやっている真実、韓国サンケンの人たちに酷い仕打ちをしているそのことを伝えているんです。どうぞ地元の企業の



姿に関心を持っていただきたいと思います。今日も多くの市民の方、そして、労働組合の皆さんがこの宣伝に駆けつけてくれました。次に韓国サンケンの仲間からアピールをしていただきます。

韓国サンケン労組 ヤンソンモさん発言

私は韓国サンケンの労働組合、組合員の**ヤン・ソンモ**と言います。お早うございます。志木駅ご通行中の皆さんお早うございます。私は地元 企業の日本のサンケン電気の100%子投資をした韓国の子会社、韓国サンケンで働いている労働者です。志木駅ご通行中の皆さん。皆さんは地元この新座市にあるサンケン電気、サンケン電気と言う会社をご存じでしょうか。サンケン電気は1973年に私たちが住んでいる地元慶南道と言うところに韓国で100%の子会社を設立したのが日本のサンケン電気です。サンケン電気はここで子会社を設立して、韓国政府の様々な税制の恩恵を受けながら急成長で発展しました。そしてそこで多くの韓国人労働者を使って、利益を上げてきました。そしてサンケン電気はそして、同業中世界で第8位の売上を誇る企業に発展をしたわけです。このようにサンケン電気は大きく成長した裏には韓国の労働者の血と汗がにじんでいると言っても過言ではないと思います。しかし、韓国の子会社はあるにも関わらずサンケン電気は大きな赤字があると言うことを口実にして韓国の私達の職場である韓国サンケンの工場を廃業してしまいました。赤字になったと言うことで労働者の首を切ってしまうと言うことはあってはならないことです。サンケン電気がもうすでに韓国で営業を行わない、全部撤退すると言うことならばまだ話は違うでしょう。でも、サンケン電気はそうではありません。韓国にそのまま居座って別会社を作ってそこで生産をしてまた更に利益を上げて行こうとする。これがサンケン電気がやっている今のやり方です。この様に嘘で固めた偽装廃業というのは決して許すわけにはいきません。だからこそ、私達は284日に渡って私達は韓国サンケンの工場の前にビニールでテントを張って、そこで寝泊まりをしながら、サンケン電気のこの横暴なやり方を糾弾しています。私たちが要求するのはただ一つ工場を再開して私達を工場に戻せ。と言うことが私達の要求です。私達はこのように180日以上に渡ってこのような要求を叫び続けてきました。しかし、サンケン電気からは何の回答もなく何の説明もありません。志木駅ご通行中のみなさん。私達のこの叫びは自分たちの生存権を賭けた私達の叫びでもあります。私達家族の問題もかかっている問題でもあります。どうか、私たちの仲間が配っているピラを受け取りそして私達の訴えに耳を貸してくださるよう、お願いいたします。韓国には15人の仲間が自分たちの工場に戻ることを要求しています。この様な少ない人数の労働者を雇用できないはずがありません。サンケン電気は私達の訴えに耳を貸して一刻も早く話し合いに応じなければなりません。サンケン電気はこの工場の廃業と言うものが累積赤字によるものだと言明をしてそれを口実にしてきました。しかし、サンケン電気が今、やっているやり方と言うものが自らが言っている理由と言うのが嘘である。そして、これが真実ではないと言うことを赤裸々に表しています。サンケン電気は嘘で固めた今回の偽装廃業と言うものを直ちに撤回しなければなりません。そして1日も早く私達の職場である。韓国サンケンの稼働を行わなければなりません。そうしてこそサンケン電気が自らの企業としての良心を取り戻すことが出来ると思います。私達の願いは自分たちの職場で働き続け定年を迎えたい。定年まで自分たちの職場で働き続けたいと言うのが私達の願いです。サンケン電気はこのような私達の願いを無視することはできません。私達は自分たちの要求が通るまで闘いを続けます。志木駅ご通行中の皆さん、どうか私達韓国サンケンの労働者の訴えに耳を貸してください。そして、このような酷い仕打ちをしている日本のサンケン電気、サンケン電気本社に抗議の声を上げてください。サンケン電気の和田社長は1日も早く私達との話し合いに応じなければこの問題は解決できません。最後に、今日も必ず私達との連帯のために朝早くから集まってくださった日本の仲間の皆さんにお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。私達も頑張ります。 トウジェン

韓国サンケン労組 キム・ヨンデさん発言

ご通行中の皆さん、お忙しい中皆様ご出勤中だとは思いますがどうか韓国から訴えている私達の発言に少しお耳を傾けてくださるようお願いいたします。そして朝早くからお騒がせしていることについてはお詫び申し上げます。私は**キム・ヨンデ**と申します。私は2016年に日本に遠征闘争をした時にここ志木駅前でも皆さんに訴えたことがありました。地元企業のサンケン電気、サンケン電気が私達韓国の労働者と交わした約束を守らなかったのもう一度こうして皆さんの前で発言をさせていただいている次第です。本社は私たちが復職する際に韓国サンケンの工場を正常に稼働すると約束しました。しかし、正常な稼働はせずむしろ、作れば作るほど赤字になるそのような注文をよこして赤字がどんどん膨らんでいった。そのような経緯があります。このような赤字になったのは私達のせいでしょうか。この経営の責任は働いている労働者にあるのではなく、この仕事を指示した会社側にあり本社の日本のサンケン電気にあると言わざるを得ません。しかしサンケン電気本社はこのように嘘で固めた累積赤字と言うものを理由に私達労働者の首を切ってきました。本当に理由にもならない理由で私達は路上に放り出されてしまいました。私達はこのコロナの状況ですが私達の生存権を守るために再度立ち上がらざるを得ませんでした。本社は韓国サンケンの私達の工場に再度投資を行い正常な稼働をする約束をしたにもかかわらず私達の工場に投資も稼働もきちんと行いませんでした。それよりも別な工場を買収してそこで、こっそりと再稼働そこの工場を稼働し生産を始めていました。サンケン電気は私達の工場を潰しておいて一方では韓国の財閥企業であるLGと手を握り韓国で別会社を作りました。そしてその別会社に16億円も投じました。そして追加で35億円を更に投資して工場を拡張しようとしています。私達の工場は潰しておいて一方で別の工場を動かすということは理屈に合いません。そして日本にあるいろいろな工場を整理しリストラを行うと言っています。その浮いたお金で韓国にまた投資をするといったことも言っているようです。日本のサンケン電気では働いている多くの人たち、日本の労働者もリストラによって首を切られるそうです。私達韓国の労働者もサンケン電気の横暴なやり方によって首を切られています。私達は働くものが、私達現場で働いている人たちが何の過ちがあるのでしょうか私達は命じられたこと、会社で言われたことを黙々と現場でこなしてただけです。サンケン電気のリストラされる日本の労働者も首を切られた韓国の労働者も自分の職場に戻って自分の仕事を続けたい。それが働く人間として当然の望みだと思います。私は声を大にして日本のサンケン電気がやっているこのような汚いやり方を訴えたいと思います。サンケン電気は先ほど言ったように私達の工場は潰しておいて別の工場にお金を投資しそこで工場の稼働を狙っています。何故このようなことをするのでしょうか。私達の工場には労働組合がありこのようなことに対して会社の横暴なことに対しては声を上げるからです。どうやら会社側はこのようなきちんと抗議をするような労働組合がある工場は潰してそして非正規の人たちを入れた別の工場でもって自分たちの営業を行おう。そのように思っているようです。本当にこんなことはあってはなりません。47年間各種税制の恩恵を受けながらここで働いてきた労働者を一日にして首を切りそして自分たちの金儲けのためには別会社を作ってそこで非正規の人たちを雇って働かせる。このようなことが許されてはこの世はめっちゃめち



やになると思います。サンケン電気本社が私達韓国サンケン子会社にまわす注文と言うのはそれは作れば作るほど赤字になるようなそのような注文しか回さず、それでも私達は黙々とラインで仕事をこなしてきました。皆さんこのような理窟に合わないことをこのまま頼っておいていいのでしょうか。今通訳でお話ししている人もそれから今ピラを配っている人も韓国の労働者ではなく日本の市民の人たちです。日本の人たちも私達の話聞いてそんなことはあり得ないと憤慨して立ち上がってくれました。そしてこのようなサンケン電気に対する抗議の声は埼玉地域だけではなく全国各地でサンケン電気の営業所の有るところで抗議行動がおこなわれています。私達が今コロナで韓国から日本へ渡っていけない状況があります。だからこそ日本の市民の皆さんが自らサンケン電気の横暴なやり方に対して抗議の声を上げてくれています。私は本当にこの話を聞いて嬉しくなりました。日本の人たちが私達に代わって闘ってくださることに本当にありがたいと思いました。この様な有難い連帯に対してどうやって恩返しができるのか私は一生懸命に考えました。私達のこのサンケン電気に対する抗議のこの抗議行動の中でコロナに感染する人が出て来るのではないかと本当に心配しました。志木駅ご通行中の皆さん、是非とも皆さんにお願い申し上げます。私達からのお願いと言うのは今駅前で仲間の人たちが配っているチラシを受け取って欲しいと言うことです。そしてそのチラシの裏側にサンケン電気の電話番号が書いてあるので是非ともサンケン電気に電話してこのような理不尽なことが行われぬように抗議をしてほしいと言うことが私達のお願いです。私達の工場へ帰りたと思っていますがリストラされる日本のサンケン電気の労働者の皆さんも自分の職場に戻ればいいと思います。最後に私達に代わってこの志木駅前で闘ってくださっている日本の仲間の皆さんどうかコロナに気を付けて、健康に留意してそして頑張ってください。ご通行中の皆さんそして商店街の皆さんに、少しお騒がせしたことを申し訳なく思い、私の発言をおえて行きたいと思えます。皆さん私の発言を聞いてくださってありがとうございました。

今韓国のサンケンの仲間からの話がありました。皆さんももうお分かりかと思いますが。50年近く前韓国にサンケンと言う会社が海外に初めて進出したのが韓国なんですね。馬山の自由貿易地域と言うところで税金も土地もそして様々な優遇政策を受けながら今まで企業活動をしてきたのです。でもそこで儲けたお金は何処に行ったのでしょうか。韓国で長年働いてきた人たちには全く還元されずに莫大な利益を上げて業界でも第8位と言うおおきな会社に成長しています。韓国の仲間たちは本当に青春をかけたんだ。若いころからずっと働き続けた人たちになんの説明もなく解雇をしてほうかむりをしてしまう。そんなことが許されるのでしょうか。恥を知れという言葉がありますが、そんなところだからこそ私達は韓国の闘いを共に支えようとして支援活動をしています。日本企業として恥知らずなことはしてほしくない。それが私達の率直な気持ちです。どうぞ皆さん私達の仲間が区がっているチラシを受け取っていただき、今、何が起きているのかを是非読んでいただきたいと思えます。本日は三信自動車の仲間から発言を求めていきたいと思えます。連帯のアピールをお長居したいと思えます。

三多摩合同労働組合三信自動車の関根です。ご通行中の皆さんすでに、サンケン電気の仲間の方からの訴えがありました40年、50年に渡ってサンケン電気が築いてきた信用信頼と言うものが今まさに一瞬に崩れ去っていかうとするかいう事態になっています。数十年かけて築いてきた信用それが一瞬にして崩れ去るこの世界で8位と言うところまで成長してきた企業がなぜこの様なことを今行おうとしているのか日本の経済、世界の経済と言うものがグローバル経済、新自由主義という流れの中で生産事業あるいは労働者のことを顧みずにひたすら利潤を追求しようとするその様な考えのもとに行っていることが正にその原因である。今回サンケンの本社に対してもハゲ鷹フアンドエフィシモが株の買い付けを行い和田社長自らの地位が危うくなっている、それは取りも直さずひたすら資本が利益を追求するその様な弱肉強食の流れに和田社長が足を突っ込んでいくそういうことで労働者を顧みずにひたすら利潤を追求することは結果として自らの地位をも危うくしているこ

ういう事態が今現出していると思います。サンケン支会の仲間が私達の闘いに対して同様にしたらお礼が出来るのかと言うことを言っていました。私達は私の闘いもそうですけれど、既に 24 年目の闘いに入っています。私達争議団連絡会議の仲間は単に自分の闘いだけでなく一人の解雇も許さないと言う観点から全争議団闘争勝利、全ての争議団の闘争に勝利すると言うことを確認して闘っています。サンケン支会の闘いにおいても何よりもこの闘いに勝利することが共に闘う労働者として私達が望むものでもあります。更にご通行中の皆さんが是非サンケンの勝利に向かう闘いの一翼を少しでもいいですから担っていただきたい。共に闘いの隊列に加わっていただけたら幸いです。共に勝利の報告集会を開こうではありませんか。是非とも私達の闘いに注目して今後ともご支援とご理解を訴えて、三信自動車からの連帯のアピールに変えていきたいと思っています。

どうも韓国サンケンの仲間に対する、

韓国サンケン労組 ペク・ウンジュ教育宣伝部長の発言

アンニョンハセヨ、私は韓国サンケンで働いていて一夜にして解雇された労働者です。解雇が 1 回でなく 2 回にわたって解雇されてしまいました。私が勤めている韓国サンケンと言う会社はこの志木駅近くにあるサンケン電気という会社が 100%投資して韓国に作った韓国の子会社です。私が入社する以前にも大きな組合での闘いがあったそうです。それは韓国サンケンでインドネシアに工場を移転すると言う話が持ち上がり、それに反対し、労働組合が会社側と闘いを繰り広げてこのインドネシアへの移転を阻止したという闘いだったと聞きました。私が入社したのは 2001 年わけですから、その当時だけでも組合員の数が 100 人以上いたのです。その当時はラインもたくさんありました。そして多くの労働者が働いていて電源や LED などの工具も作っていました。そして 2002 年には新しいアイテムが投じられまた、新入社員も大勢入ってきました。私が入ったのは 20 代でしたがその当時も多くの方々が働いていて多くのラインで私は働いていました。そしてそこで大きな利益を得たわけですがサンケン電気が欲を出したのか更に新しい事業を始めました。それは CTSL という事業でそこでまた新たに人数が増えて工場が大きくなりました。しかし、この時韓国サンケンではサンケン電気の本社の方針で LED 事業の転換に乗り遅れてしまいました。開発がほかの企業に遅れてしまったようです。それ以来韓国サンケンでは希望退職と言う名のもとに多くの人たちのリストラが始まりました。親会社の日本のサンケン電気はどんどん新たな社長を挿げ替えたわけですが新しく送り込まれる韓国サンケンの社長と言うのはみんな韓国の財閥の LG 企業出身の人でした。社長が変わるたびに事業部は閉鎖されてどんどん会社が縮小されてきましたし社員の数もどんどん減っていきました。今考えてみるとサンケン電気は美味しいところだけを持って行って結局私達韓国労働者を使い捨てしてしまっただけではないのでしょうか。というふうに思います。この様にして事業部がいくつか閉鎖され会社もどんどん人数が少なくなっていきました。2015 年の 7 月には原因不明の火災が発生しました。ちょうど人がいない時間だったので人への被害はありませんでした。人為的な火災ではないのかもしれませんが何故か労働組合の事務所と会談だけがこの火事で燃えてしまったのです。不思議なことに会社の中心である 2 階の事務所には全く被害が発生しませんでした。その時組合員の大勢の人たちは労働組合が憎くて労働組合の事務所が燃えるように誰かが火を付けたのではないかというような噂話までしました。そして火事が出たのでこの急難業を防ぐために別会社で一部物を作ったこともありました。この様なことを見ながら私たちは何か仕組まれたものがあるのではないかというような気もしました。別会社で物を作っていた時、私達もそこで働いたこともあったのですがその仕事に少し慣れたところに、また、会社は新たにリストラを発表しました。どうやらその時から韓国サンケンの工場は稼働しないというという方針を決めたのではないかと言うことを、今になって考えると改めて思います。そしてその翌年の 2016 年生産職にいる組合員、全員は解雇するという方針がくだりました。私達はこれに抗してサンケン電気を相手に闘いを繰り広げました。そしてついに私達は闘いに勝利して現職に復帰し、私達の工場で元通り働くことになりました。多くの人たちがこの様な闘いには勝てないだろう、もう諦めるべきだと言っていました私達は諦めずに闘いを

行ってそして、堂々と胸を張って自分たちの職場に戻っていきました。そして私達は会社側と合意書を交わし、会社がとても苦しいと言う状況を知っていたので労働組合としても多くのことを譲りながら会社の再建に向けて

一生懸命協力を行いました。電気も節約し水も節約しその様な工場での生活でしたし私達はいろいろなことを我慢しながら会社側に協力をしてきました。私達が我慢していれば何時かきっと新しいアイテムが来るかもしれない。そしてまた新しい投資が行われるかも知れない。そうすれば、状況はもっと良くなるだろうとそのように考えて私達は会社側に譲り多くのことを強力してきました。それで私達は一生懸命働きました。この様にしていた時に日本のサンケン電気本社はいきなりホームページで私達の職場である韓国サンケンを閉鎖すると言うことを発表してきました。わついたちと会社側が2日前の雇用安定委員会を開きそして今後の方向についてを合意をしていたそのわずか2日後に私達が知らない間に日本のサンケン電気はこのようなことを裏で画策していたのかと思うと唖然としてしまいます。私は正直言ってこれが夢であってほしいと思いました。その時から私達は闘いに立ち上がり今日で284日になっています。この様な闘いが始まってすぐに片付くと思っていました。もちろん韓国でも長期間に渡って葬儀を闘っているそういった労働組合もありますが私達の会社の場合は早く方が付く問題が解決すると私は思っていました。周りからも正直もう工場が廃業してしまった。もう相手がなくなってしまったのだからこの闘いは勝てない闘いだと言うような声が囁かれてきます。でも希望と言うのは最初からあるものではありません。希望と言うのは私達自らが作り出していくものだと思います。もはや私達の闘いは韓国サンケンの労働者だけの闘いではなくなっています。私たち地元の多くの仲間は支援してくれており、そして日本の多くの人たちが私たちを支援してくださっています。志木駅ご通行中の皆さん。この様な理不尽なことを行う日本のサンケン電気、サンケン電気本社に対してどうか皆さんからも抗議の声を上げてくださるようお願いいたします。一日も早くこのサンケン電気が韓国サンケンの問題を解決しそして私達が現場に戻れるよう皆さんからのお力をお貸しくくださるようお願いいたします。私達は職場が懐かしい。そして自分たちの青春を賭けたその様な工場に一日も早く戻りそして働き続けたいと思っております。

韓国サンケン労組 オ・ヘジン支会長の発言

志木駅ご通行中の皆さん私はサンケン電気が100%韓国に投資して韓国に設立した韓国の子会社韓国サンケンで働いていた韓国の労働者です。私は4年前にもサンケン電気が韓国サンケンにかけてきた攻撃、私達生産現場にいる社員全員を解雇すると言うようなことに反対して闘い続けました。その時にも日本に渡って多くの人たちが支援をしてくださったのですが、私はそこでもずっと闘いを続けてまいりました。私達が日本に渡った時日本語もわからず、大変苦勞しましたけれど、多くの日本の市民の皆さんが私達を支援してくれ、そして私達の闘いは勝利して私達は元の職場である韓国サンケンの工場に元通り働き続けることができるようになりました。私達が韓国サンケンの現場に戻れるようになった時、私達は韓国サンケンの会社側と合意書を交わしました。その合意の中には1番目に工場を正常に稼働するという事。二番目には問題が発生した折には特に雇用の問題が発生した時は必ず労働組合と話し合い、その合意の下にこの問題の解決にあたるということが示されていました。でも、サンケン電気、日本のサンケン電気本社は韓国サンケンの正常に稼働する何の措置も講じませんでした。むしろ作れば作れるほど赤字になるそのような注文をよこして赤字の幅を膨らましてきました。私たちの工場には変な注文をよこして赤字を膨らませたかと思うとこっそりと裏では別な会社を買収してそこで投資を行っていたのがサンケン電気です。サンケン電気はこのように3年間に渡ってこっそりと私達の職場である韓国サンケンの工場を閉鎖させるために裏でこっそりと準備を行ってきました。普通の企業であれば倒産しないように一生懸命努力するのが企業のやり方だと思います。どうすれば倒産しないのかどうすれば工場を閉鎖しないで生き延びるか俺を考えるのが企業の在り方なのに、サンケン電気、日本のサンケン電気のやり方は何ということでしょうか。普通の会社であれば閉鎖をしないように廃業しないように努力するのが普通なのにサンケン電気は韓国サンケンの工場を閉鎖させるために廃業させるために3年間もずっと準備をし

てきました。どうして3年間にも渡って偽装廃業を行うのでしょうか。志木駅ご通行中の市民の皆さん皆さんの職場が皆さんの工場がもしもこのような理窟に合わないことがあるとすれば皆さんは黙って諦めてしまうのでしょうか。いかがでしょうか。私達は諦めるわけにはいきません。日本のサンケン電気が私達の職場を奪おうと、そして、私達の工場を一方的に潰そうとしているのに私達は黙ってそれを引き受けるわけにはいきません、私達はこのように理不尽な事に黙っている訳にはいかずに声を上げ始めました。日本のサンケン電気が意図的に赤字を作りそして工場を潰すために三年間も準備してきた。労働組合がある工場を潰そうと狙ってきた、私達はその様に考えています。私達はこのように理不尽なことに理屈が通らないこのようなことに決して諦めるわけにはいかない。許すわけにはいかない。と書いて立ち上がりました。短い人でも18年間長い人では30年近くに渡って自分たちの工場で働き続け青春をここで送る仲間がいてこのような所が私達の職場であり私達の組合です。決して賃金は高くないけれどみんなで沢山でこの職場を守って来た。そんなところを一夜にして潰そうとするその様な日本のサンケン電気のやり方は決して許されるものではありません。私達はラインで言われたことを黙々とこなしてきた現場の労働者です。このすべての責任は何処にあるのでしょうか。それは本社であるサンケン電気、サンケン電気本社の経営陣にあるのであり、私達に責任があるなどと言うのは絶対に間違っています。志木駅ご通行中の皆さん、皆さんにお願いがあります。このような理窟に合わないことをやっている地元企業のサンケン電気、サンケン電気に抗議の声を上げてくださるよう、皆さんからもサンケン電気への抗議の声を上げてくださるよう心からお願いいたします。20年以上に渡って働き続けた私達の職場を守るために皆さんからもお力添えをお願いします。最後に日本の仲間の皆さんにお礼を申し上げたいと思います。だんだん気温が上がってきて暑くなるようです。どうか皆さん、体調に気を付けてそしてコロナに気を付けてお互い頑張っていきましょう。皆さんありがとうございました。

どうもありがとうございます。韓国の仲間たちからの訴えがありました様に韓国サンケンの解散は偽装倒産と言うしか表現のしようがないのです。サンケンが韓国で生産を続けるのであれば今あるサンケンに投資するのが当たり前です。何故16億円もかけて密かに別会社を作らなければいけないのか。それが偽装解散と言う何よりも証拠なのです。ですから私達はこのように理不尽なやり方について日本でも共に連帯をし闘いを続けております。どうぞ皆さんも、チラシを読みそしてサンケンが何を行っているのかということについて興味を持っていただきたいと思います。最後に、明大生協労組の仲間から発言をいただきたいと思います。

志木駅前をご通行中の市民の皆さん。明治大学生協労働組合の瀬戸からご挨拶を申し上げます。この半年以上に渡って韓国のサンケン電気、新座市に本社がありますサンケン電気の100%の子会社である韓国サンケンの工場の解散そして、労働者の全員解雇の問題について、皆さんにご理解を頂きたくそしてまた、この労働者の全員解雇に対して新座市のサンケン電気本社に対して抗議の声を上げていただきたくこの間一貫して活動しています。声を多くの皆さんに「お伝えしているように4年前にここに韓国の労働者がやってきて首切りを止めてくれ指名解雇を止めてくれと言って行動したあの時サンケン本社の和田社長はこのような形の労働者の問題は起こさない。そして韓国の労働者の首を戻す。韓国の工場を正式に稼働する。何かあったら組合と誠実に交渉する。そういった約束をして4年前のあの大きな闘いを労働者側の勝利と言う形で会社が認めるという形になりました。そして、今そんなことはもう、忘れた。そんなことは知らない。そんなことは開き直る。そういった形で日本のサンケン電気、新座市のサンケン電気の本社和田社長はあれだけ頑張った韓国の労働者をもう一度首を切る。挙句の果ては工場は閉鎖する。そんなことをやっている訳です。そしてまた、今はコロナの時代ですから4年前に韓国の労働者が日本にやって来たけど今回は来れないそういった状況を使って、来ています。また、コロナだから、今、景気が悪いから会社の景気も悪いんだ、と言った形で工場の閉鎖、労働者の首切りをあたり前のようにして主張しています。しかしそんなことは全くありませんでした。調べれば調べるほ

ど労働者が調べれば調べるほどいくつもの事実が昭赤になってくる。新座市のサンケン本社は韓国サンケンと言う会社を47年前に作ったんですけど、今回日さするに当たって、実は別に韓国の他の所に工場を作っていた。そういうことも明らかになってきています。また、このサンケン電気のお仕事の中心である半導体の部品を作ると言う仕事はこれは皆さんご存じのように現在絶好調の、本当に部品が足りないから自動車が出来ない。そしてまた半導体を使って、よくテレビで宣伝しているように、スマホで電話をかければクーラーが入る。スマホを冷蔵庫に当てたら中に今日冷蔵庫の中に入っている品物と照らし合わせて、今日の料理のメニューを教えてくれる。食べたいものをスマホで調べてそれを電子レンジに並べたらこんな料理の仕方がありますよと教えてくれる。今絶好調の商品です。サンケン電気はそういった中でいまおおきな仕事をしている。それも韓国で家電会社で有名なLGとい一緒になってやっている。そんなことまではっきりとしている訳です。この間私達はややもすればコロナと言うことで仕事がなくなったり、シフトがはずされたりまた、給料が下げられたり、そんなことは当たり前と思ってしまうかも知れませんが、事実はそうではなくて、逆に景気のいい会社もある。苦しんでいる中で頑張っている会社もあるんです。労働者に犠牲を押し付ける会社が一番悪い会社です。私たちはそういった意味で韓国の仲間、そして日本の仲間私達がいる環境の中で一緒に闘っていこうと頑張っている訳です。実際には勿論、工場は様々な形で違っています。働き方も様々な形で違っています。しかし、そういった中で仲間を作り自分たちの権利を主張して生活を守っていくという私達の労働者の基本に変わりありません。また、そうした中で私達は連帯して向上できるし、やって来たし、また、できるんです。そういった意味で是非多くの皆さんにご理解いただきたい。私達もこの間の経験の中で遠い韓国の労働者、逆に近くの労働者を含めてやはり同じだなと言うのを実感しています。誰だって首を切られたらたまらない。誰だって給料下げられたらたまらない。

南池袋・東京事務所前 昼休み集会

韓国サンケン労組の強い絆と闘う意志を見てきたし、私達は労働者なんだと強い誇りを持っている韓国サンケン労組の人たちに強い感銘を受けています。私達は志木内での情宣活動の中で中年の人に話かけられた、自分の勤めている会社は大きな会社で労働組合はあるが自分たちのためにはちっとも働いてくれない。日本にまで来て解雇撤回の闘いをする組合が羨ましい。といったのを覚えております。私達は昨年の8月に市民の会を再結成をしておりますが、だいち市民の会に参加されていない方で、亡くなられた人は一人や二人ではありません。韓国サンケン電気労組からの弔文も頂いております。私達は亡くなられた方々の分までと言う思いで韓国サンケン労組支援してまいります。サンケン電気は1月20日会社を廃業し労働者を整理解雇し更に韓国サンケンの名前まで消し去り、もう闘う相手がいないんだから、いい加減に諦めろと言っているのかもしれませんが、しかし、韓国サンケン労組の闘いが続く限り闘いは続きます。必ず道は開かれ私達は勝利いたします。私達の力が韓国サンケン労組の力になります。



韓国サンケン労組の力は私達の力になります。皆様と共に連帯して闘っていきましょう。共に頑張りましょう

韓国良心囚を支援する会の代表の渡邊さんに発言をお願いいたします。

皆さんこんにちは今日は初夏を思わせるような陽気となりましたけれども、本当に毎週、まだまだ、木曜集会にご参加くださりありがとうございます。コロナの状態が緊急事態宣言が出てどうなるか分かりませんが本当はこのために一番日本に来たい韓国サンケン労組の皆さんなのではないでしょうか。日本に来て親会社にしっかりと訴えて話し合いを実現するために本当にやきもきしているような状態かと思います。こちらの司会者の話にありましたけど、このサンケン労組の皆さんの闘いと言うのはすでに4年ほど前にもこれと同じような状態がありました。その時約半年以上埼玉に来られた遠征隊は毎日不当解雇撤回を求めて訴えられたわけでありました。その闘いによって運動によって会社側と合意を取り付けた、それがちゃんと取り付けております。話し合いがこのも問題が最終的に4年前に解決したかと思っていたところにまた、この問題です。サンケン電気の皆さん。どうしてこの様なことが起きるのでしょうか。これは会社側が働く人々のことを考えていない。自分たちの会社だけ何をやっても偽装としか思えないその様なやり方で突然組合員の首を切る、不当解雇する。そういうようなことであります。会社のために30年、40年一生懸命に働いてきた人々が韓国サンケンの労働組合に参加している皆さんであります。現在組合員は16名ですけれども本当に観光の工場の前であるいはソウルに上京し国会議員やその関係の所、日本大使館、そこにも要請行動に出ておられます。そうゆうようにして自分たちの問題を何としてでも広く知っていただいて解決の大きな力にしたい。そうゆうような思いで頑張っておられます。日本でも、昨年9月からですから半年以上が立っております。皆さんそれぞれお忙しい中ですが、こうして、なんとしてでも話し合いを実現させたい。そういうようなために日本では韓国サンケン労組支援のために私達も駆けつけている所でございます。本当に会社将来のことを考えますとこの一番大事なことは働く人々そういう人々を大事にすることではないでしょうかそこに立ち戻って会社の基本中の基本だと思えます。和田社長始め、役員の方々は是非サンケン労組との話し合いを実現してもらいたい。決断してもらいたい。私達は重ねて要求します。和田社長は是非、この解決のために先頭に立っていただきたい。そう思います。一日も早い話し合いの実現を切望しております。



ありがとうございます。日本の方々はサンケンと言う会社は知らない人が多いと思います。しかし、韓国では今サンケン電気は有名企業です。悪い方で、です。日本のNHKにあたる公共放送のKBSが2度に渡って特番を扱いました。先日も撮影に来て近々全国放送されると思います様々な優遇措置を受けながら利益を韓国に還元せずそして食い逃げのように去っていった企業そういう評判が韓国では定着しつつあります。私達もそういうことを正して、どうしてもこの解散を決壊させるために闘いを続けたいと思います。サンケン太郎さんおねがいします。

サンケン太郎

私達は 諦めないぞ

韓国サンケンの 労働者を

職場に戻すために 諦めないぞ

一二三四 二二三四

サンケン電気 廃業撤回しろ

学研フジセの争議団

東京フジセ企画労働組合です。私達もそうですけど、

会社解散、全員解雇 サンケンの1月20日から、すでに三か月も経過しています。職場をなくしてしまう、労働組合は潰せるんだと言う風に考え、今そうゆう風にはならないと言うことがサンケンの仲間たちがそ

う示しているんですけど、それでも更に逃げ切りを図ろうと居直っているのが現在のサンケン電気の対応だろうと思います。そう遠くない将来に、例えば会社は解散させられても労働組合は残る。そして雇用の職場が保証されている、そういうことができるんだと言うことを示す。そうした勝利を勝ち取るという日が来るだろうと言うことを考えています。日本の労働運動でもそうした〇〇争議と言うのは沢山あるだろうと思います。勝利を勝ち取ってきています。私達の争議もそうなんですけど今韓国ではサンケンの仲間との問題をきっかけにして国際連帯と言うことで蒼龍自動車の仲間、民主労総の本当に熾烈な闘いが激しい民事弾圧で展開されてきたということを私達は一緒に学んで、これに勇気づけられながら闘ってきているんですけど、多くの日本の争議は特に争議団に対しては民事弾圧で言論を封じ込めていく、仮処分、観察協定、損害賠償と言う形で攻撃がかけられてきています。先日も私達のニュース記事に対して名誉棄損だと言うことで株主総会の時に配ったニュースの中で学研の対応を批判していた福祉団体の記事を引用したこれが名誉棄損だという。私達は株主総会でこうした声が上がっていることに対してきちっと答えると言うのが株主に対する責任だ。説明責任を果たせと言うことで載せたわけですけど、それが学研の社会的地位を低下させることを狙ったものであると引用と言う形を使って誹謗したものであると言うとんでもない、私達に対して慰謝料は50万円という請求だったんですけど。金額的には55万円大幅な減額ですけど損害を認めてネットの記事も削除すると言うようなことを命じる不当な判決でした。そうした事を許さずに私たちはこうした民事弾圧によってそういうのが長期化されていると言うのが、私達仲間の現状ですけどそれを跳ね返して闘っていきたいと思います。明日、南部交流会、南部の地域共闘の統一行動としてこういった攻撃も跳ね返しながら争議の長期化に抗しながら一方で職場でも一人でも入れる地域合同労組の闘いを展開しながら闘っていますけど、南部労組の福祉協会の現場と私達の学研社労組の闘いを8時35分から12時45分まで続けて闘いを展開しますのでそちらへの結集をお願いしたいと思います。明日から緊急事態宣言と言うことでまた、発令されるということになって、労働者民衆に対してこの間、コロナの犠牲強要と言うものを行う。何ら生活保障や有補償と言うものを行うことなく、むしろ声を上げる者に対して治安弾圧を強めていくということが行われている状況にある訳ですけど、私達はそうした事を許さず闘っていきたくと思っています。多くの皆さんと連帯・共闘しながら私達は今のそうした弾圧、闘う者へ対しての弾圧、そして犠牲の強要そうした事を許さぬ闘いを展開しながらサンケンの仲間と連帯してすべての闘いの勝利を目指していこうと考えています。共に頑張りましょう

かつては首を切るのは経営者の恥だと言うことを言った経営者がいます。最近は経営が苦しいからどこか経営に関係なく組合が邪魔だから会社ごと潰してしまえそういう安易なことが平然と行われています。フジセの仲間もそうですし、サンケンの仲間のそうだと思います。サンケン電気は会社解散・解雇をしながら、一度も説明をしていません。交渉もしていませんしないんじゃないんですよね、できないんですよね。理由がない解雇をした。そういうことをやった所が、当然説明なんかできないんです。それでも頬冠りをしていればすむ訳ではではないんです。私達は韓国でもそし



て日本の中でもこういうサンケンの方情なやり方に皆さんと共に声を上げていきたいと思っています。続きまして全労働者労働組合の方から発言を頂きます。

本日の闘いに朝から闘いぬいている仲間の皆さんに対して共に闘うサンケン電気で闘っている韓国の仲間と共に最後まで闘いぬくそうした決意を述べていきたいと思ひます。まず最初に金で労働組合の団結を破壊し、あるいは労働組合を排除する。そうしたこのサンケン電気のやり方に対してこのことは単なる一企業の問題ではなく労働組合、労働者全体にかけられてきている中身でありとりわけ解雇争議、それは資本の攻防下にある闘いであり、この闘いは決して負ける事はないし、負けてはならない闘いだと思ひます。4年前に一応会社側は労働組合と和解をしておきながら、だまし討ちの様な形で会社もろとも潰しながら、労働組合を排除する、そうした闘いに対してわついたり日本でも闘う労働組合は共に連帯する、国際連帯そうした意味を込めて私達も日本での闘いを断固として推し進めていくことが真の連帯だと思ひます。私ども全労働者労働組合の中においてユナイテッド闘争団は5年に渡ってユナイテッド航空と闘いぬいています。5月31日については最終審問が行われ、結審が行われ必ずや私達は高裁で勝ち抜くそうした決意を持って現在闘いぬいています。そして月に一度の成田のユナイテッド航空のチケットカウンター前での闘いを現在50回に渡って闘いぬいています。こうした闘いを続けながら必ずや闘い勝ち取るそうした決意をもって闘いぬいています。韓国で闘っている仲間の皆さんが、去る13日の集会で私は見たわけですけど、余りにも元気でそして、余りある力をもって、日本の労働組合に語りかけている。そして私達も頑張るから日本の労働組合は更に闘いぬけと言ったメッセージが込められたように私は感じました。私達は日本での闘いを日本政府に対しての闘い、司法に対しての闘いを進めながら、必ずや韓国サンケン電気と連帯しながら共に勝ち抜く、そういったことを最後まで続ける。そういった決意を述べて挨拶にしたいと思ひます。次に武蔵学園からの挨拶を受けていたいと思ひます。

次に武蔵学園の仲間が来ておりますのでは発言を受けて参りたいと思ひます。



私達も経営者の経営責任からの逃亡を許さない、解散清算など許さない言うことで闘い続けています。先週の金曜日、土曜日には北部共闘の春闘の私達の所属している北部共闘の、集中闘争、集中した闘いで組合の北部共闘の仲間、争議団の仲間、北部共闘の仲間、民衆連帯の仲間にも参加してもらおう。一日目は朝の6時45分から午後一時まで二日目は朝の6時45分から午後3時までという闘いを行いました。朝早くからは出られることもあるので、早朝から取り組もうと、練馬区小竹町のオリジン町住宅から歩いて5分程度の所なんですけれど、そこに張り付いて理事長の帰りを待つと、言うような展開を行いました。理事長、学園を私物化して自ら危機的な状況を作りながら10億円以上の資産がありながら組合員憎しのために組合員を解雇して解散清算する、言うことを私達は許さない。ということで理事長と同居する連れ合い、評議員と言う名前だけで現在も高額な収入を得続けています。学園資産のレクサスを乗り回して連日のようにフィットネスクラブに行

って遊びまわっている。いうように学園の資産を流用する。連れ合いの理事長と評議員を追及するために二日間も張り付きを述べ69名で参加と言う中で闘い抜くことができました。一日目は何の反応も無かったんですけど、二日目は朝から〇〇が警察に通報して病院に行きたいが出たいが出られない。と言うようなことで通報すると2回ほど通報すると、言うことができました。けれども私達が、ずっと家の前に張り付くと言う中で別に出てきても構わないのですが、結局最後まで病院に行かず、家の中に閉じ困ったと言うような状況です。私達は申し入れ、抗議の情宣には全くの無対応です、いう内容です。韓国サンケンの闘いでも会社側の経営が私達の抗議に対しても全く無視、無対応を決め込んで経営責任からの逃亡を図ろうと、言う風に考えています。私達も組合潰しのための組合員の解雇・そして解散・清算まで許さない。そういう闘いをあらゆる戦術で取り組んで行きたいと考えています。本日は風の強い中ではありますが最後までこの闘いそして、サンケン電気の勝利まで共に闘っていきたいと思います。共に頑張りましょう。

ありがとうございました。ともに組合潰し、経営者が経営者としての責任を果たしていないという事に対する闘いだと思います。熱いメッセージありがとうございました。それではここでインターネットを使っての韓国サンケンの仲間からのメッセージをお願いします。

韓国サンケン労組 キム・ウニョン副支会長の発言

池袋ご通行中の市民の皆さんこんにちは、私は韓国でサンケン電気の子会社韓国サンケンを解雇された労働者です。今日は東京は風が随分強いようですね。韓国はそうでもありません。私達はサンケン電気を韓国サンケンを解雇されて今まで闘争を続けています。昨年七月私達は、韓国サンケン廃業と言う攻撃を受け、闘争を始め、そして、秋が過ぎ、冬が過ぎ、そしてもう春も真ただ中と言うそういう時間が流れました。皆は周囲の人はサンケン電気に対する私達の闘いが決して優しい闘いではない、その様に言っていますが私達解雇された労働組合員16名は固く団結して必ず勝利する。そのような決意のもとにサンケン電気との闘いを続けています。この長い闘いが始まったわけですが、この間私達が韓国サンケンの工場の前に建てた座り込みのテントこれも風のために何度か壊れたりしました。私達の韓国サンケンの工場のまえに建てた座り込みテントはこれまで時には大風であるときは台風によって飛ばされ壊されてきましたが、しかし私達は只元の職に戻る一つの信念だけで続けています。サンケン電気は2016年今から4、5年前ですが韓国サンケンの労働者全員を解雇する、その様な攻撃をかけてきたことがありました。しかし、私達はサンケン電気によるその様な攻撃、卑劣な攻撃に対して真っ向から闘い、そして中央労働委員会からサンケン電気のこの解雇は不当な解雇である。その様な判定を受け取りました。そして、私達は韓国サンケンの工場に戻ることが出来たわけですがその工場に戻るにあたりサンケン電気から次のような約束を受け取りました。サンケン電気は組合員の地位に重大な変更するような事案が確定した時は労働組合と誠実に協議しそして合意の下にその計画を実行する。その様な約束を交わしました。しかしながら労働組合と交わした約束はサンケン電気は守ろうとせず、これまでの間に韓国サンケンが労働組合と交わした約束は一つも守られませんでした。サンケン電気と言う会社この藤久ビルの中に入居しているサンケン電気という会社がありますが、このサンケン電気は非常に不道德な会社です。卑劣な企業と言わざるを得ません。サンケン電気はこの間30年に渡り労働組合と交わしてきた約束はそのすべてを破棄、守ろうとしませんでした。この様に労働者との約束さえ守ろうとしない会社がある会社がサンケン電気と言う会社です。その様な会社が果たして正常な企業活動ができる企業でしょうか。正しい企業、善良な企業と言えるでしょうか。サンケン電気は半導体の分野で世界で八位のシェアを持つグローバルな大企業です。その様な大企業が労働者との約束を守れないようなその様な卑劣なことをしていいのでしょうか。この世界で八位

と言う企業が労働者を解雇するために様々な工作をしてきた。この様な工作が認められるでしょうか。サンケン電気は結局のところ私達労働者を追い出すために、この間投資もせず赤字を作り出してきた。その赤字の責任を労働者に転嫁して私達を解雇すると言うのです。そして更にこうして新型コロナの影響で国境が閉鎖され、韓国から日本へ労働者が来る事が出来なくなって、その様な機会を利用して廃業を行った。そのことからサンケン電気の和田社長が直接言った言葉だということだそうです。世界八位と言う企業でありながら労働者を踏みにじるようなサンケン電気と言うのは非倫理的な企業であると言わざるを得ません。

日本は福島第一原子力発電所から出た汚染水を海洋放出するのだと言うニュースを私は韓国で聞きました。その様な非合理的な措置とサンケン電気が労働者を放り出す措置と何処が違うのでしょうか。私達は汚染水を海洋に放出する菅政権に最後まで反対します。そして労働者を路上に放り出すサンケン電気とも最後まで闘います。そして私達は米国による日米韓の軍事同盟に対しても最後まで反対して闘い抜きます。これは韓国の労働者がしなければならない闘争だと思っているからです。汚染水を流して皆の健康を危うくし、そして戦争によって人々の命を危険に陥れ、そして不当な解雇によって労働者の生活を破綻させるこの様なことに対して韓国の労働者は闘い抜かなければいけない。それが我々の役割だと思っています。日本でもサンケン電気からのリストラが行われていると言うことです。私達も退職させられた労働者と共に闘いを続けていきたいと思いません。我々は日本の連帯してくれている皆さんと共に労働者の皆さんと共に闘って、勝利まで闘っていくつもりです。池袋の藤久ビルの前をご通行中の皆さん。市民の皆さん。この藤久ビルに入居しているサンケン電気と言う会社、私達を不当に解雇したサンケン電気という会社に対して我々を工場に戻す様強い抗議と要請を伝えていただくようお願いします。私達がこの闘いに勝利してサンケン電気と和解し工場に戻ることが出来たとすれば、それはこの池袋の市民の皆さんそして皆さんのお声掛けが大きな力になったことだと、そのことを思い出さずことだと思いません。最後になりましたが、新型コロナが猛威を振っています。皆さん健康にお気を付けてください。日本の皆さんがいるからこそ私達が存在して、そして、私たちがいるから日本の皆さんがいます。労働者は一つになって最後まで闘いぬきましょう。

トウ・ジェン



韓国サンケン労組 オヘジン支会長の発言

皆さんこんにちは**オヘジン**です。私達が韓国でサンケン電気との闘争を始めてから、もう 300 日になろうとしています。しかし、この 300 日という間サンケン電気は私達の要求を完全に無視しています。サンケン電気は私達が日本人でないからこの様なことをやっているのではないかと思っています。しかしながらサンケン電気はサンケン電気の問題について指摘する自国民、日本の労働者からの声にも答えようとしない。これは非常に可笑しいことだと思います。サンケン電気はいつも利害関係者と話し合いをして問題を解決すると言っていますが、その様なサンケン電気の言葉にも反する行為だと思います。私達は遠征闘争をしながらサンケン電気と言う会社がいかに不道徳であるかと言うことを、よくない会社だということを感じてきました。韓国ではこの様なサンケン電気に対して韓国の国会議員、そして道知事、そして、地方議会の議員は韓国サンケンに対して抗議書簡を送りました。彼らは日本のサンケン電気による理由のない工場内閉鎖と解雇これに対して労働者との交渉を拒否したまま一方的に廃業を進める。これに対して強い抗議の意思を表明しております。しかし、相当な手続きによって物事を進めていると言うサンケン電気はこの様な批判に対して沈黙で一貫しています。社会的な合意、利害関係者との対話を通じて問題を解決していく。その様なことを言っていたサンケン電気はしかしながら、私達の対話にすら出てきません。サンケン電気と言うのはこのように労働者の声にも耳を貸さうともしない。その様な会社です。この様なサンケン電気の態度に対して私達は闘争によって問題の解決を図らざるを得ないじゃないですか。サンケン電気のこの様な無責任な態度にたいして、私達は相当の力によってこの様な無関心と責任回避を打破していこうと思います。これまで韓国サンケンの労働者に対して数多く仕掛けてきた攻撃に対して、私達は決して屈することはありません。このようなサンケン電気による韓国の労働者に対する差別的な攻撃を決してかっかすることなく勝ち抜いていきたいと思っています。今日も来てくださった日本の仲間の皆さんに感謝の言葉を申し上げます。私達の闘いについて日本の支援の皆さんへも行動を通じて新しくその行動の重要さと言うものを感じています。労働者が団結すれば何物も恐れることはない。何物にも打ち勝つことが出来る。この事実を私達は 4 年目に実際に身をもって体験しました。しかしながら今はコロナのために日本に行くことが出来ませんがそれでもこの様なインターネットを通じて日本の皆さんと一緒に連帯してくれる。この様な形で新しい闘争を作っていくこれに対して我々はまた、考えを新たにしています。私達は労働者の力を信じ団結と連帯の力を信じて最後までサンケン電気との闘いを続け必ず闘いに勝利するまで闘い抜こうと思います。

どうも有難うございました。韓国の仲間からの発言で分かりますように韓国サンケンの解散は全く理のない解散です。そしてサンケンは様々な合理化をしています。日本国内の中では合理化をされる従業員に対してきちんと説明をしているんですよ。韓国サンケンにだけ何の説明もしなかったんです。こんな理不尽なことは絶対に許せない。そういうお思いがあります。そして和田社長が言ったように日本への遠征闘争はできないんだ。確かにできませんでした。しかし、私達は闘いの中でインターネットでつないで共に攻めると言う新しい方法を見つけ出したと言えます。韓国サンケンの解散を撤回させるようなまた、新しい闘いをこの闘いの中から私達は掴み取っていきたいと思います。最後になりますけど七回のサンケンに向かってシュプレヒコールをしていきたいと思っています。

シュプレヒコール

韓国サンケンは韓国サンケンの偽装解散を撤回しろ

韓国サンケンの偽装解散を許さないぞ

サンケンは組合との呼称に応じろ

和田社長は出てこい

出てきて交渉に応じろ

我々は会社解散を許さないぞ

解散撤回まで最後まで闘うぞ

日韓連帯で闘うぞ

闘争に勝利するぞ